

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902488		
法人名	有限会社 ライフステージ		
事業所名	グループホーム ひだまりの家		
所在地	北海道旭川市神楽4条1丁目2番4号 (電話) 0166-69-2222		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年6月27日	評価確定日	平成20年7月22日

【情報提供票より】(平成20年6月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	13人	常勤	6人, 非常勤 7人, 常勤換算 4.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	21,000~29,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,100円			

(4) 利用者の概要(6月10日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	3名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	3名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 82.7歳	最低	74歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神楽神経内科医院・旭川南病院・いまみや歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

旭川市内の中心部から程近い古くからの閑静な住宅街に位置する1ユニットのグループホームです。ホーム主催の夏祭りには、家族や近隣住民、町内の人達、子供たちも参加して地域との交流にも努めています。また、敷地内には、利用者が楽しめるように花壇や畑が作られトマトやじゃがいもなどの野菜が栽培されていたり、パークゴルフ場も造成されて趣味などを活かせる場となっています。中庭では、誕生会などで焼肉パーティーが行われたり、ウッドデッキでは、日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されて季節感が感じられる空間作りとなっています。ホーム内では、残存機能を維持・向上できるような取り組みも行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、職員の同業者との交流の促進が挙げられていましたが、グループホーム連絡協議会やケア研究会参加での交流など行われています。今後は、さらに管理者・職員が他施設との相互訪問ができるように検討されているので、交流の促進に期待しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価を活かして具体的な活動に取り組んでいます。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され、そこでの意見が運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在1回実施されています。議題は 運営推進会議の趣旨並びに今後の運営について 入居状況について AEDの設置について デイサービスの開始について 運営推進会議の年間予定についての質疑応答
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が利用料金を毎月持参した際に、日常生活の様子や健康状態などについて報告されています。また、苦情や要望、不安な面などについても話し合われ対応され、それらが運営に反映されています。「一日一行日記」では、一日の特徴的な出来事や利用者の様子など家族に情報提供され喜ばれています。金銭管理についても毎月報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 幼稚園児との交流やホーム主催の「夏祭り」を通じて地域の人達、近隣住民との連携・交流促進に取り組んでいます。また、実習生やボランティアの受け入れ、食材を地域から購入して地域に貢献しながら日常生活を通じて認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、ひだまりの家の「ふれあい」「支えあい」「思いあい」「語りあい」「広げあい」の五つの事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を共有し、具体的に掲げその実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	幼稚園児との交流やホーム主催の「夏祭り」を通じて地域の人達、近隣住民との連携・交流促進に取り組んでいる。また、実習生やボランティアの受け入れ、食材を地域から購入して地域に貢献しながら日常生活を通じて認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価を活かして具体的な活動に取り組んでいます。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され、そこの意見が運営に反映されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については、本年度 評価日現在1回開催されている。メンバーは利用者の家族、町内会役員、民生委員、他施設の有識者、管理者・職員で構成され、具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、二ヶ月に一度 定期的開催が出来るように取り組まれることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、旭川市担当者との連携についての重要性を良く理解しており日々取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が利用料金を毎月持参した際に、日常生活の様子や健康状態などについて報告されています。また、状態変化については都度連絡などして詳細に報告している。</p>		<p>特筆すべき点として、「一日一行日記」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などそれぞれの家族にこまめに情報提供して喜ばれている。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が利用料金を毎月持参した際に、日常生活の様子や健康状態などについて報告されています。また、苦情や要望、不安な面などについても話し合わせ対応され、それらが運営に反映されています。金銭管理についても毎月報告されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は、利用者が管理者・職員の異動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みを心がけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、グループホーム協議会や研究会などの外部の研修参加を奨励したり、申送りなどで職場内研修やOJTの実施で職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や研究会への参加で同業者との交流が行われたり、ヘルパー実習の受け入れなどでケアサービスの質の向上に取り組まれている。</p>		<p>今後は、管理者と職員の他グループホームの見学や交流の促進も検討・計画がされているので実現されることを期待します。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入居前には、利用者・家族の見学や体験などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒にビデオ鑑賞や食事の準備をしたり、散歩や買い物、畑作業や園芸、ホーム行事参加など本人と支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>音楽行進見物や花見、散歩や買い物、習字、刺し子、カラオケ、レクリエーションなどの趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて散歩や買い物、ドライブ、医師・看護師の往診など柔軟に支援を行っている。また、入浴や炊作業など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても内科医や歯科医の往診、看護師の訪問など適切な医療が受けられるよう支援されている。また、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方について医療機関と連携して利用者・家族とも相談しながら検討対応するように職員間で共有されている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重した声かけなど取り組まれている。また、記録等の個人情報の扱いは個人情報保護法に配慮した取り組みが行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりのペースを大切に散歩や買い物、音楽行進見物や花見などの外出の支援や食事の準備、畑作業など本人の希望やペースに沿って支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や後片付け、食器洗いをしている。また、野外での焼肉パーティーも行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、入浴が楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	誕生会での食事会や野外での焼肉、ゲームやレクリエーション参加など一人ひとりの希望に沿った支援がされている。		本年は、レクリエーションの充実が目標として掲げられ様々な検討がされている。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、畑作業、音楽行進見物や花見、外食、酒造メーカー見学、食事会、夏祭りの実施など気分転換のための機会も多くつくられている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関や居室に鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画などのマニュアルも整備され、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように、利用者と共に実技を伴う火災避難訓練が実施されている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。また、医師や栄養士の指導・アドバイスも受けて支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、利用者が楽しめるように花壇や畑が作られトマトなどの野菜が栽培されていたり、中庭に出られるウッドデッキでは、日光浴を楽しめたり利用者同士ゆっくり談笑などできるスペースが用意されて季節感が感じられる空間作りとなっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具やテレビ、ソファなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、手作りの作品や家族の写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。